

ひこね 市議会だより



令和8年5月臨時会 (5月20日)

令和8年6月定例会 (6月8日～6月29日)

- 5月臨時会の結果 2～3
- 6月定例会で決まったこと... 4～7
- 個人質問 8～18
- お知らせ 19～20

第57回 議会報告会「議会広聴の日」を開催しました

令和8年4月9日(木)に『議会広聴の日』を開催しました。『議会広聴の日』とは、普段みなさんが市政について考えているご意見について、市議会議員と気軽に話していただける「意見交換の場」のことです。当日は、市民の方にご参加いただき、各議員と彦根市についてお話しいただきました。

決定しました

5月臨時会で長崎議長、森田副議長が当選されました。
また、各委員会の構成は以下のとおりです。



67代議長
長崎 任男 議員

このたび彦根市議会第67代議長の重責を担うこととなりました。
私はこれまでも「好き嫌いで判断しない」を信条としてまいりました。
今後も公平公正な議会運営に努め、より良い彦根市議会の実現に取り組んでまいります。



79代副議長
森田 充 議員

市民の多様な声を大切にし、議長と緊密に連携を図りながら、公平・中立の立場で、議会の機能向上と円滑な運営に努めてまいります。

委員会の構成

◎：委員長 ◆：副委員長 ○：委員

委員会名	中川 睦子	角井 英明	八橋 龍二	堀口 達也	中野 正剛	上杉 正敏	北川 元気	辻 真理子	森野 克彦	和田 一繁	矢吹 安子	小川 吉則	黒澤 茂樹	足田 菜穂子	伊藤 容子	奥野 嘉己	安澤 勝	野村 博雄	森田 充	戸崎 克司	馬場 和子	長崎 任男	林 利幸	小川 隆史
企画総務消防常任委員会						○	○	○						○		○				◆		○		◎
福祉病院教育常任委員会		○	◆						○		○	○			○			◎						○
市民産業建設常任委員会	○			○	○					○			◎				○		○		◆			
予算常任委員会	○		○			◆	○					○		○	◎	○		○		○	○			○
議会改革特別委員会		○				○	◎						○			○				○	○			◆
議会運営委員会	○			○		○				◎					○		◆			○			○	

(令和8年5月20日時点)



5 月臨時会の結果

原案のとおり

条例関係 2 件 その他の議案 1 件

可決・承認・同意



新しい彦根市監査委員を選任

新しい彦根市監査委員を小川吉則議員とする議案に対し、同意しました。

5 月臨時会 議案の審議結果

会期：5月20日(水)

■ 全員賛成で可決等した議案

項目	番号	件 名
議 案	38	専決処分につき承認を求めることについて（彦根市市税条例および彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例）
	40	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件 名
報 告	4	損害賠償の額の決定について
	5	損害賠償の額の決定について

■ 賛否が分かれた案件

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件 名	結果	中川睦子	角井英明	八橋龍二	堀口達也	中野正剛	上杉正敏	北川元氣	辻真理子	森野克彦	和田一繁	矢吹安子	小川吉則	黒澤茂樹	正田菜穂子	伊藤容子	奥野嘉己	安澤勝	野村博雄	森田充	戸崎克司	馬場和子	長崎任男	林利幸	小川隆史
議 案	39	彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

このような討論がありました

議案第39号 「国の制度改正に伴う彦根市立病院における長期収載品の選定療養費見直し」

反対

議案第39号は、長期収載品の選定療養費負担を引き上げ、患者、とりわけ高齢者や慢性疾患患者の負担増につながる。社会保障費削減を財源とする政策は憲法の理念に反し、社会保障の充実こそ必要であるため反対。



6 月 定 例 会 の 結 果

6月定例会の結果

原案のとおり
可決・同意

修正可決
不採択

予算関係 1 件、条例関係 3 件
その他議案20件、意見書 1 件
決議 1 件
条例関係 1 件
請願 2 件

6月定例会 議案の審議結果

会期：6月8日(月)～6月29日(月)

■ 全員賛成で可決等した議案等

項目	番号	件 名
議 案	41	令和8年度(2026年度)彦根市一般会計補正予算(第1号)
	42	彦根市市税条例の一部を改正する条例案
	43	彦根市介護保険条例の一部を改正する条例案
	45	財産の取得につき議決を求めることについて
	46~64	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
決 議	1	北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発を推進する決議案

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件 名
報 告	6	令和8年度(2026年度)一般財団法人彦根市事業公社の事業計画について
	7	第39期彦根総合地方卸売市場株式会社の事業計画について
	8	第24期株式会社四番町スクエアの事業計画について
	9	令和7年度(2025年度)彦根市繰越明許費繰越計算書について
	10	令和7年度(2025年度)彦根市病院事業会計予算繰越しについて
	11	令和7年度(2025年度)彦根市水道事業会計予算繰越しについて
	12	令和7年度(2025年度)彦根市下水道事業会計予算繰越しについて

5月臨時会・6月定例会
に提出された議案等の詳
細についてはこちら



▼意見書・決議



▼議案一覽・議決結果

■ 賛否が分かれた案件

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件 名	結果	中川	角井	八橋	堀口	中野	上杉	北川	辻	森野	和田	矢吹	小川	黒澤	正田	伊藤	奥野	安澤	野村	森田	戸崎	馬場	長崎	小川
				睦子	英明	龍二	達也	正剛	正敏	元氣	真理子	克彦	一繁	安子	吉則	茂樹	穂子	容子	嘉己	勝	博雄	充	克司	和子	任男	隆史
議 案	44	彦根市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願	1	「治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	不採択	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	2	日本政府に核兵器禁止条約への批准を求めることに関する請願書	不採択	○	○	○	●	○	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●
意見書	1	滋賀県における地域公共交通目的の新たな税導入に慎重な対応を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○

■ 令和8年3月定例会で継続審査となった議案第13号の修正案についての賛否

彦根市職員等の職務上の行為に係る訴訟等の支援に関する条例案の修正案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-----------------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※議案第13号彦根市職員等の職務上の行為に係る訴訟等の支援に関する条例案の修正部分を除くその他の部分については、全員賛成で原案のとおり可決されました。



このような討論がありました

議案第13号 「彦根市職員等の職務上の行為に係る訴訟等の支援に関する条例案の修正案について」

反対

対象範囲の限定や公費支出の公平性、条例としての法的安定性に課題があり、弁護士や執行部からも憲法・法令との整合性や制度設計への懸念が示されている。彦根市が市民と市職員の双方から信頼される行政であり続けることを願い反対。

賛成

原案より条例制定の趣旨や立法事実が明確に示されていることから、本条例の目的により適うものと判断できるため賛成。

反対

法的な疑義を残さず、対象を限定せず、公平で普遍的な制度でなければならぬため反対。

議案第44号 「家庭的保育事業等に係る保育士配置基準の見直しに伴う条例改正について」

反対

保育士配置基準の緩和ではなく、保育の専門性を生かした支援体制の充実が必要なため反対。

反対

国家賠償法の制定は国会や政府において議論すべき課題であるため反対。

賛成

本請願は人権尊重の意思表示であり、地方議会から国に意見を届けることは重要な役割であるため賛成。

請願第2号 「日本政府に核兵器禁止条約への批准を求めること」

反対

核兵器禁止条約への署名・批准は国の安全保障に関わる課題であり、国が総合的に判断すべきであるため反対。

賛成

世界では核兵器禁止条約への批准が広がり、国内で多くの自治体から批准を求める意見書が提出されている。住民の命と暮らしを守る地方自治体で、議会が平和を願う市民の声を国へ届けるのは役割と考えることから賛成。

意見書案第1号 「滋賀県における地域公共交通目的の新たな税導入に慎重な対応を求める意見書案について」

反対

知事選挙期間中の意見書提出は政治的中立性への配慮を欠く。また、税導入に否定的な論点に偏り、公共交通の課題や財源確保の必要性への記述も不十分で、公平性を欠くため反対。

賛成

地域公共交通の維持は重要だが、新たな税負担は慎重に検討すべきであり、既存施策の見直しや財源活用を優先し、県民や市町への十分な説明と合意形成を求めるため賛成。

一般会計補正予算の主な事業

消防団活動推進広報事業

544千円

消防団の力向上モデル事業について、消防庁から事業採択を受けたため、必要な経費を補正するもので、全額国庫支出金をもって賄うもの。



▲大学と連携した消防団員加入促進事業

予算常任委員会

議案第41号 令和8年度（2026年度）彦根市一般会計補正予算（第1号）を可決

予算常任委員会は、6月19日(金)に委員会を開催し、1件の議案について慎重に審議しました。

【審査】

- ・議案第41号

【主な質疑】

- Q (仮称)図書館中部館整備事業の減額の理由と影響は。
- A 国の補助金が、当初見込んでいた額よりも減額となったことに伴い、工事費も減額となった。このためスケジュールが全体的に6か月程度後ろにスライドされ、供用開始は令和11年度になると想定している。
- Q 公共施設のLED化事業の債務負担行為2億4,237万円の対象範囲とリースにする理由は。
- A 一括化のコストメリットが低い施設、国庫補助が見込める施設、施設のあり方を検討している施設を除く78施設6,000台を対象とした。工事をする場合、価格はリースの概ね1.4倍程度高く、また詳細仕様も一台ごとに作成する必要があるため、時間的にもコスト的にも有利であった。

Q 小泉庄界線道路改良事業の減額理由と影響は。

A 国からの補助の内示が厳しく、(仮称)図書館中部館整備事業に補助を全額割り振ったため、本事業は全額減額となった。このため工事着手が令和9年度となり、令和9年度、10年度の予算で工事は実施となる。

【主な討論】

○議案第41号に対して

賛成 公共施設のLED化事業は、リース方式ありきではなく、PFI方式やPPP方式等、あらゆる方法を十分検討し、決定方法の透明性を確保しながら進めてほしい。

賛成 公共施設のLED化事業は厳しい状況だからこそ、市内業者に配慮した形での取り組みをしてほしい。

【結果】

- ・議案は原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

議案第13号は修正案および修正案以外の部分は原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会は、6月22日(月)に委員会を開催し、2件の請願、2件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・請願第1号、請願第2号
- ・議案第45号、議案第13号（継続審査）

【主な質疑】

- 議案第13号（継続審査）に対して
- Q 原案を提出した背景は。また、修正案に対し、執行部として対象、制度の考え方をどう整理するか。
- A 誠実に職務を履行した職員を、彦根市議会議員からの告訴で苦しめたことを深く反省した。修正案は支援対象の範囲、規則との整合性、氏名公表制度に制度設計上の課題があり、慎重な検討が必要。
- Q 修正案を提出した背景は。
- A 議員による異例の刑事告訴が発生したことを受けて、対象を市議会議員等に限定した。

【主な討論】

- 請願第1号に対して
- 反対 本請願は、本来国で議論されるべきものであり、地方議員が提出する場合は十分な検証と慎重な判断が必要であるため反対。

○請願第2号に対して

反対 国家の外交、安全保障、国防に関する重い判断は、国が総合的に判断すべきであるため反対。

○議案第13号（継続審査）の修正案に対して

反対 対象を特定の者とせず、全体を対象とすべきであるため反対。
法や憲法に抵触する可能性が強く、職員を守るためには、隙のない緻密な条文が必要であるため反対。

賛成 意見書を踏まえ法律家の意見を聞き提出され、一日も早い条例制定が必要であるため賛成。
提出された意見も踏まえて修正案が提出されているため賛成。

【結果】

- ・請願第1号および請願第2号はいずれも不採択
- ・議案第13号は、修正可決、修正案を除き、原案のとおり可決
- ・議案第45号は原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会

彦根市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案を可決

福祉病院教育常任委員会は、6月23日(火)に委員会を開催し、1件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第44号

【主な質疑】

- Q 改正による現場への影響は。
- A 専門人材を活用する事により、よりきめ細かな支援と保育の質の向上に繋がると考えている。
- Q 保育士とみなされる者は事業所によって違うのか。
- A 各事業所によって異なる。
- Q 今回の改正理由は。
- A 国の基準変更に伴い所要の改正を行うものである。
- Q 今回の改正が関係してくる施設は、どれ位あるのか。
- A 市内では、小規模保育事業所B型4施設、事業所内保育事業所1施設の、合計5施設となる。
- Q 保育士免許所有者が減る事で問題は無いのか。
- A 一定の要件を満たす専門職の方が入る事で、保

育士も色々と支援を受けられる。また一緒になって対応にあたるため、不都合はないと認識している。

Q 保育士とみなされる特定理学療法士等の勤務体制は。

A 常勤換算という形で1人とみなされる。

【主な討論】

反対 障害や発達上の課題を抱える乳幼児への支援に対する専門職の役割等を否定するものではないが、専門職は保育士の代替ではなく、その確保への課題も考えられる。乳幼児支援の充実という目的の実現には、保育士配置基準の緩和ではなく、処遇改善等の保育士の確保策や、公的な発達支援体制の強化によって図るべきと考え反対。

【結果】

・議案は原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

議案は原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会は、6月24日(水)に委員会を開催し、1件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第43号

【主な質疑】

- Q 今回、被保険者の申請無しに介護保険料が減免可能となった経緯は。
- A 今回の令和8年度分の保険料の減免の特例は、職権で課税・非課税の条件等を抽出し適用することで、申請漏れ、該当被保険者の捕捉漏れを防ぎ、公平な保険料賦課を実施できること。また、申請書の送付や返送、認定に係る事務負担の軽減を図ることが可能になるという判断により改正しようとするものである。
- Q 今までの手法で減免について不備はなかったのか。
- A 従来の手法に不備があったということはない。

基本的に減免は被保険者からの申請により実施するものであるが、従来どおりの申請では減免に抜けが生じる可能性があるため、職権ですべからず公平に適用するということである。

Q 減免に漏れはないのか。

A 今回の改正は令和8年度の保険料について適用することとしている。漏れを防ぐため職権適用するものであるが、未申告の方等の場合は、適正に申告がなされた後にシステム上判断することになるので漏れは無い。

【主な討論】

・なし

【結果】

・議案は原案のとおり可決

市政について
質す!

6月定例会個人質問

21人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、
事前申し込みによる
手話通訳を
実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について



▲彦根市議会
インターネット
映像配信はこちら

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。
また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。
配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。(https://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/) 彦根市YouTubeチャンネルでも本会議映像をご視聴いただけます。



▲彦根市YouTube
チャンネルは
こちら

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



正田 菜穂子議員

Q

荒神山の森林整備に森林環境譲与税を積極的に活用できないか

A

市内全域の森林を見据え新たな活用方法を検討していく



その他の質問

- ・市役所駐車場のカメラ監視体制移行について
- ・繁忙期における駐車場の人員配置や安全確保への見解について

Q 複雑に混在する森林の所有形態の現状と、その管理体制は。

A 公有地は3%、財産区有地は16%、民有地が81%と所有者が混在しており、多くが保安林の指定も受けているため、現時点での一体的な管理は難しいと考える。

Q 荒神山自然の家の廃止に伴い、ウォークラリー跡地が立入禁止となったが、市として関与すべきではないか。

A 基本的には財産区の土地であるが、通行人の安全性を考慮し、今後は財産区と産業部、教育委員会が連携して協議していく。

Q 豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐため、財産区や地域住民と連携した森林整備を進める考えはあるか。

A 行政が一律に指導することは容易でないが、地域における主体的な活動の機運に寄り添い、関係者との連携や支援策を検討していく。



▲日夏町から望む荒神山



八橋 龍二議員



**彦根市指定専用袋（ごみ袋）
価格の変更は**



**6月19日出荷分から値上げ
される**



その他の質問

- ・彦根城の世界文化遺産登録について
- ・彦根城内鐘の丸売店の閉店について
- ・彦根城バリアフリー問題について

Q ごみ袋の安定供給と販売対応は適切か。

A 本市のごみ袋については一部の店舗で一時的な品切れが発生していることを確認しているが、中東情勢による不安から必要以上の買占めが発生していることが主な原因と考えられる。

なお、購入制限については、彦根市事業公社から小売店へ協力依頼を行っている。

Q 市民生活への影響をどのように捉えているか。

A 臨時措置を実施して以降、大きな混乱もなくごみ収集を継続できており、市民生活への影響は最小限に抑えられている。今後については、彦根市事業公社と密に情報共有を行い、在庫や納品状況、販売状況の把握に努めるとともに、必要に応じて臨時措置の期間延長も検討する。



▲ごみ袋の臨時措置



中野 正剛議員



デジタル教科書が正式な教科書になった時、彦根市の選択はどうか



現時点では特定せず、教科書の見本についてしっかりと研究する



その他の質問

- ・生活保護世帯に自転車用ヘルメットの購入補助を

Q デジタル教科書についての見解は。

A 先進国においては、デジタル化の中で、その特性を踏まえた最適な活用が模索されている。例えばフィンランドでは紙とデジタルそれぞれの良さを生かしたハイブリッド型へと見直しが行われている。これはいずれかを否定するものでなく、学習効果を高めるための工夫であり、日本の取組とも共通している。

Q 2030年度の次期学習指導要領実施に合わせてデジタル教科書が正式な教科書として位置付けられるが、その時、彦根市は紙の教科書、紙とデジタル教科書のハイブリッド、デジタル教科書のどれを選択するのか。

A デジタル教科書をめぐる動向については、本市としても注視しているが、現時点でいずれかの形態を特定するのではなく、紙やデジタル教科書の見本についてしっかりと研究を進め、最適な選択をしていきたい。



▲2030年度からデジタル化されたものも使用される教科書（イメージ）



林 利幸議員

Q 稲枝駅西口へのアクセス道路の完成時期は

A 令和8年度中に完成させ、供用開始に向け取り組んでいる



その他の質問

- ・荒神山における獣害対策について
- ・小中学校の統廃合について
- ・農業集落排水と公共下水道との接続について

Q 稲部本庄線の現状は。

A 市道部分の整備は完了。今後優先整備区間の金田町交差点から稲枝駅西口へ至る区間全体の供用開始に合わせ、金田町交差点の形状変更に伴う路面標示の書き換えを行う。

Q 芹橋彦富線の現状は。

A 優先整備区間で事業協力が得られず未取得の用地があり、一部区間で歩道などが未整備となっているが、車道は道路線形を調整したうえで供用開始ができる状態。また、優先整備区間から県道愛知川彦根線までの区間は次期整備区間と位置づけ、順次整備を進める。

Q 稲枝西口停車場線の現状は。

A 優先整備区間の供用開始に向け切れ目なく工事を発注し、先般、アスファルト舗装を行う施工業者が決定。準備が整い次第工事に着手する。今後は、本定例会で補正予算が認められたら区画線工の整備を行う。



▲稲枝西口停車場線の現状（写真奥はJR稲枝駅西口）



安澤 勝議員

Q 特定外来種の捕獲駆除状況は

A アライグマは約2割増加し79頭



その他の質問

- ・国道8号バイパス彦根工区事業決定の概要は
- ・中山道バイパスの現状と今後の見通しは

Q サルの彦根群の全頭捕獲に向けて今後の予定は。

A 現在実施している行動域調査を継続し、佐和山北部に生息する弁天群における個体数調査で得た知見を活用しながら、効果的なサルの管理手法の検討を進める。追い払いや侵入防止対策および捕獲対策を組み合わせた総合的な対策を実施し、最終的な対策として全頭捕獲について検討する。特に人への警戒心が低く、住宅地へ出没が多い群れについては、人とサルとの適切な距離を確保し、地域住民の安全安心につながるよう取り組む。

Q 特定外来種の捕獲駆除状況は。

A アライグマ79頭、ヌートリア2頭、ハクビシン17頭の計98頭。令和6年度と比較するとアライグマは約2割増加している。

Q 近隣自治会から被害相談はあるか。

A 個別に相談を受け適宜対応している。



▲鳥居本町上町付近で遭遇したアライグマ



矢吹 安子議員

Q 旧井伊神社は県指定文化財の可能性はあるか

**A 歴史上・学術上価値が高いため
県指定の要件を満たす可能性がある**



その他の質問

- ・乳幼児期における家庭教育の大切さについて
- ・5歳児健診の必要性について
- ・本市のペアレントトレーニングについて

Q 旧井伊神社社殿とは。

A 見た目の美しさと意匠に優れ、江戸時代後期の高度な技術の粋を集めた社殿が評価され、2013年に彦根市指定文化財となった。

Q 県の文化財保護課や国の文化庁の反応は。

A 全国的に権現造の建物が数多く存在し、新たな特徴が明らかでないが、滋賀県知事は非常に良い建物であり、県、国の指定を目指していきたいと話された。

Q 調査報告書の刊行後に期待できることは。

A 高い歴史的価値はあるが、国指定となるためには新たな建築的特徴の更なる調査研究が必要である。

Q 県指定文化財の可能性は。

A 歴史上または学術上価値の高いもののうち重要なものが県文化財保護審議会の審議を経て県指定となる。旧井伊神社はその要件を満たす可能性があると考えられる。



▲旧井伊神社の「ほりもの」



中川 睦子議員

Q 学校体育館の空調設備の設置計画を立てるべきでは

**A 中学校体育館7校へは令和14年度
から2年間で実施検討する**



その他の質問

- ・老人福祉センターの空調設備について
- ・生活応援クーポン事業について
- ・高齢者が安心して利用できるデイサービスについて

Q 空調設備が市内公共施設で未整備なのはどこか。

A 全小中学校、全幼稚園、子どもセンター、各出張所、稲枝地区体育館、武道場の計38か所の一部または全部。

Q 未整備の理由と今後の方向性は。

A 多額の財政負担が理由であり、今後は国の補助金制度の活用と実態に応じた適切な対応について検討する。

Q 学校体育館は災害時の避難所としての機能をどう果たすのか。

A 熱中症のリスクが高い子どもや高齢者を優先して、空調設備のある普通教室等に避難させる等の対応を考える。

Q 学校体育館への設置計画を立てるべきでは。

A 教育環境の向上や災害時の避難所の機能強化の観点から、中学校体育館7校への空調設備整備を、国の交付金を活用できる令和14年度から15年度までに実施できるよう検討していく。

学校別空調設備整備状況		整備計画年度
施設名	整備状況	整備計画年度
小中学校	0	令和14年度～令和15年度に1校整備予定、令和16年度までに全校完了予定
幼稚園	0	令和14年度～令和15年度に1校整備予定、令和16年度までに全園完了予定
子どもセンター	0	令和14年度～令和15年度に1校整備予定、令和16年度までに全所完了予定
出張所	0	令和14年度～令和15年度に1校整備予定、令和16年度までに全出張所完了予定
稲枝地区体育館	0	令和14年度～令和15年度に1校整備予定、令和16年度までに全館完了予定
武道場	0	令和14年度～令和15年度に1校整備予定、令和16年度までに全場完了予定
老人福祉センター	0	令和14年度～令和15年度に1校整備予定、令和16年度までに全センター完了予定
生活応援クーポン事業	0	令和14年度～令和15年度に1校整備予定、令和16年度までに全事業完了予定
高齢者が安心して利用できるデイサービス	0	令和14年度～令和15年度に1校整備予定、令和16年度までに全サービス完了予定

▲2026年6月7日付け「滋賀民報」掲載記事





馬場 和子議員



交通対策の実証実験や社会実験の結果を踏まえ実現につなげられないか



世界遺産登録実現を本格実施に移す契機と捉え実験の成果を生かしていく



その他の質問

- ・事業成果報告書の活用
- ・固定資産台帳の公表
- ・公共施設維持管理のライフサイクルコストの縮減対策

Q「ひこねひらくみちづくり」の手ごたえと今後の予定は。

A 道路を交流や活動の場として活用できる可能性が実感できた。今後は、再度実験したうえで滋賀県に提言し、再整備につなげたい。

Q 世界遺産登録を見据えた交通対策として、これまで実施してきた実証実験や社会実験は、一つでも実施につなげられないのか。

A パーク・アンド・バスライドは、原町地先の市有地の拠点駐車場化が必要。グリーンスローモビリティ導入は車両購入に多額の経費が必要で、情報収集等を行ってきた。滋賀県による自動運転バスも含め彦根城世界遺産登録の実現がこれら交通施策を本格実施に移す契機と捉えている。観光客の増加対策として実験成果を生かしながら実施につなげたい。



▲ひこねひらくみちづくり社会実験



黒澤 茂樹議員



夏の暑さ対策や紫外線対策は



登下校時は日傘の使用や、場合によりサングラスの使用も許可する



その他の質問

- ・学校体育館空調設備導入の検討状況について
- ・生徒会長公約実現事業について
- ・市役所本庁舎敷地内全面禁煙について

Q 今夏の教育現場での暑さや紫外線に対する対策は。

A 児童生徒を厳しい暑さから守るため、夏季休業期間を8月31日まで延長し、2学期の始業を9月1日とした。授業日にはエアコンを適切に稼働させ各教室の温度、湿度を快適かつ安全な状態に維持する。また各校策定の熱中症予防対策マニュアルに基づき、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう万全を期す。

紫外線対策については、学童期は皮膚の構造上や紫外線からのダメージを防ぐメラニン色素の生成が未発達という特徴から、登下校時には帽子着用や日傘の使用を認めている。また、サングラスについては、紫外線アレルギーなどの理由で保護者から申し出があった場合は使用を許可することとしている。



▲日傘やサングラスをして登校する様子（イメージ）



北川 元気議員

Q 財政調整基金の枯渇と累積赤字が約379億円に達することへの受け止めは

A 本市の存立に関わる深刻な危機的状況であると強く受け止めている



その他の質問

- ・新ごみ処理施設について
- ・人口減少・少子化対策とDXの推進について
- ・外国人住民との共生について

Q 財政調整基金が令和11年度に枯渇し、令和17年度には累積赤字が約379億円に達するという見通しをどれほど深刻に受け止めているか。

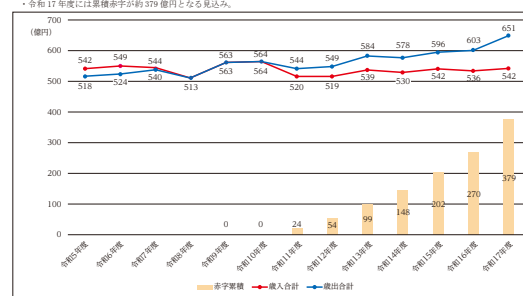
A この危機的状況の回避に向けては、あらゆる手立てを講じる必要があると考えている。

Q この事態を回避するために、どのような手立てを考えているか。

A 歳出面では既存の全事業に対する見直しを進め、大規模事業等における新たな市債発行の必要性を厳格に判断し、利率の高い借入の繰上償還を実施することにより、将来にわたる公債費の総量を抑制する。歳入面では、企業誘致や人口減少の抑制に取り組み、根幹となる市税収入の確保を図るとともに、ふるさと彦根応援寄附金の拡充や使用料・手数料等の見直しを図る必要があると考える。

③決算収支の見通し

- ・令和10年度まで財政調整基金を取り崩す等により収支の均衡を保つもの。
- ・令和11年度からは財政調整基金が枯渇することから、実質収支が赤字に転じる見込み。
- ・令和17年度には累積赤字が約379億円となる見込み。



▲中長期財政の見通し（「彦根市中長期財政の見通し」より）



堀口 達也議員

Q 対話集会の詳細と市政への反映は

A 対話集会の概要や主な意見を可能な限り市HPでも公表したい



その他の質問

- ・民間基金を活用した財源確保と市民活動支援について
- ・市長公約の達成状況は
- ・公会計は実際に経営判断に活用されているのか

Q 対話集会の詳細と市政への反映は。

A 対話集会には16団体から申込みがあり、抽選の結果10団体と実施。自治会や福祉、文化、産業など多様な団体と、市政への提案や地域課題など意見交換を行った。今後は対話集会の概要や主な意見を可能な限り市HPで公表するとともに、個人向けのテーマ型対話集会の実施も検討する。また寄せられた意見や提案は今後の市政運営に反映していきたい。

Q 民間基金を活用した市民活動団体への今後の支援体制は。

A 相談体制の充実や成果の見える化は重要であるが、専門窓口は設置せず、各担当部署が基金に関する相談や申請支援を行う方針である。また、行政職員が基金申請に必要な書類作成や申請先の選定などの助言を行い、市民活動団体を支援していきたい。



▲そこそこ対話集会（イメージ）



野村 博雄議員

Q 荒神山等中南部地域の様々な観光資源を生かした更なる観光促進を

A 地域の観光資源との連携やグッズ作成、販売拠点の確保等一層取組む



その他の質問

- ・不妊治療へ厚い手立てを
- ・インターネット上等での人権を守る取組等について
- ・利用しやすい河瀬駅への取組等について

Q 本市中南部地域の重要な観光資源である荒神山をはじめ、様々な観光資源を活用した観光促進への更なる取組は。

A 中南部地域には、荒神山をはじめ、湖岸緑地や神社仏閣、醸造施設、レイクサイドリゾート等、新たな飲食・宿泊施設も増えてきており、観光地としての魅力はより高まっていると認識している。彦根の多様な魅力の一環として情報発信に更に努め、地域の観光資源との更なる連携の可能性についても検討すると共に、商工会等との連携も進める。また中南部地域への観光客の呼び込みのきっかけとなりうるグッズ製作や販売を検討し、当地域を訪れた観光客にも購入してもらえるよう、販売拠点となる場所の確保等の課題についても検討していく。



▲荒神山をPRするパンフレット



森野 克彦議員

Q 欠席等の連絡がなく登校していない児童生徒が確認された場合の対応は

A 速やかに、学級担任等が保護者の緊急連絡先等へ連絡し安否確認をする



その他の質問

- ・子どもの熱中症防止対策について
- ・闇バイトが自身の将来に与える悪影響についての教育の実施状況は

Q 欠席等の連絡がなく登校していない児童生徒が確認された場合の対応は。

A 欠席等の連絡がなく登校していない児童生徒が確認された場合には、学校では速やかに、学級担任や学年主任等が保護者の緊急連絡先や保護者の職場等へ確認の電話をする。連絡がつかない場合は、直ちに学校管理職と情報を共有し、重ねて連絡を試みるとともに、緊急連絡先として示されている親族等へ状況を確認するなど、速やかな安否確認に努める。電話での確認が取れなかった場合は、教員が自宅を訪問し、安否を確認する。それでもなお安否が確認されない時には、市教育委員会や関連機関と連携し、組織的に対応することとしている。



▲欠席等の連絡がなく登校していない児童生徒が確認された場合の本市の対応



辻 真理子議員

Q 養育費の取り決めがない子どもの利益を守れるか

A 民法改正により法定養育費制度が創設された



Q 改正民法における親権者の定め方は。

A 改正民法では、離婚時に父母の協議により、共同親権とするか単独親権とするかを定めることになった。

Q 暫定的に養育費を請求することができる「法定養育費」の新設とは。

A 今回の民法改正により、離婚時に養育費の取り決めがない場合でも、子どもの生活を速やかに支えるための「法定養育費制度」が創設された。子ども1人あたり、月額2万円を上限として、正式な養育費の取り決めや審判がなされるまでの最低保障として、離婚後の養育費の空白期間を防ぐことを目的としている。

Q DVや虐待のおそれがある場合は単独親権を選択できるか。

A 改正民法では、DVや虐待のおそれがある場合は、単独親権を選択できる。



▲法務省のパフレット



奥野 嘉己議員

Q リピーター客の増加に向けてバス停の連携は

A キャッスルロード、四番町スクエア近傍3バス停の連携に努める



Q 観光リピーター客増加に向け、屋形船の彦根東高前の舟入での下船により、歩行距離削減はできないか。

A 法的には可能であるが、安全に下船するには課題等もある。試行運航が可能ならNPO法人小江戸彦根の意見を伺いながら、利用者アンケートの実施を検討していきたい。

Q 彦根城観光後に、キャッスルロードまで来られた観光客の彦根駅までのバス利用につき、近傍3バス停の連携活用はできないか。

A 3路線が集中しているため、連携するメリットがあり、各バス停での掲示を検討する。

Q バス停での椅子、荷物台、日陰等の整備の観点で、キャッスルロードバス停のポケットパークへの移設は可能か。

A 検討していく。

Q バス停がどこにあるのか場所案内がないが表示の検討はできるか。

A 対応していく。



▲彦根城のお堀の屋形船



角井 英明議員

Q 紙おむつを資源化して循環型社会に進むべきでは

A 収集運搬経費等の課題があり、費用対効果の検討が必要



その他の質問

- ・新ごみ処理施設の処理方式について
- ・生ごみのバイオガス化について
- ・そこそこ対話集会について

Q 紙おむつを資源化すれば、循環型社会の形成になるのでは。

A 一つの取組だと考えるが、収集運搬経費や新たな処理体制の整備等の課題があり、慎重に検討していく必要がある。

Q 浜松市では民間業者の力を借り、紙おむつから紙おむつを再生する水平リサイクルの実証実験を行っている。彦愛犬でも可能ではないか。

A 近くに再生工場がある浜松市や鹿児島県と違い、引き受ける工場があるかどうかや、ごみ収集スケジュールに、別途、紙おむつだけの分別スケジュールを組めるか等、慎重に検討すべきと考える。



小川 隆史議員

Q すべての事業において事業成果報告書を作成、公表するのか

A 事務事業ではなく、施策単位で評価し作成、公表している



その他の質問

- ・公共施設等LED化事業について
- ・市内自治会の危機的状況について

Q 事業ごとに、成果報告書の作成、公表は必要ではないか。

A 事業ごとではなく、施策単位での評価を行い、施策評価シートを公表している。

Q 公表されている施策評価シートには、事業費の記載がないのではないか。

A 施策評価シートには、事業費の記載はないが、事務概要書等により施策全体的な経費は公表している。

Q 予算執行額等の状況がないと、施策評価は困難ではないか。

A 施策評価の目的は、施策の見直しと改善であり、予算の記載はないが、事務の執行や予算編成、事業見直しの検討の中で、評価結果を踏まえて、予算等に反映させている。

The image shows a screenshot of a 'Policy Evaluation Sheet' (施策評価シート) from the 'Yamaguchi City Comprehensive Plan Basic Plan' (山口県総合計画前期基本計画). The sheet is a table with multiple columns and rows, detailing various policies and their evaluation. The columns include 'Policy Name' (施策名称), 'Policy Content' (施策内容), 'Evaluation Method' (評価方法), 'Evaluation Results' (評価結果), and 'Remarks' (備考). The rows list different policies, such as 'Public Facility LED Conversion' (公共施設等LED化事業) and 'City Self-Defense' (市内自治会の危機的状況). The sheet is a detailed document used for tracking and evaluating the implementation of various city policies.

▲彦根市総合計画前期基本計画
施策評価シート



上杉 正敏議員



通学路における交通安全対策は十分にできているか



学校・家庭・地域・関係機関と連携し見守り強化に努める



その他の質問

- ・防災リーダー育成について
- ・軟骨伝導イヤホン導入について

Q 八坂町の駐在所から南方面の通学路の途中でグリーンベルトが無くなっているのはなぜか。

A グリーンベルトが無くなっているのは指定通学路の範囲外であるため。

Q 集合場所を移動し指定通学路になればグリーンベルトを引いてもらえるのか。

A 地元自治会から学校に申し出てもらえれば許可される。

Q 八坂町のバス乗り場より北方面で50名近くの児童が利用する通学路にグリーンベルトが引かれていないのはなぜか。

A バス停より北方面については道路の幅員が狭く路側帯を引けばグリーンベルトが引けないため。

Q グリーンベルトが引けないのであるなら児童を守る他の方法は無いのか。

A 道路に通学路のペイントや立て看板の設置等が考えられるので関係部署と連携し検討する。



▲通学路の途中でグリーンベルトが無くなっている箇所



戸崎 克司議員



チャチャチャひろばに子どもリユース事業「カエコト」併設の効果は



2つの活動が相乗効果となり、利用者の拡大が期待できる



その他の質問

- ・本市の各公共施設にて、正しい節電方法の共有は
- ・公共施設別の電気使用量・電気料金見える化は

Q チャチャチャひろば移転に伴う利用者の利便性向上は。

A 空調設備が整ったことで季節問わず快適に利用ができ、これまで休館としていた日曜・祝日にも利用いただけるようになった。子どもの医療に関連した相談会やカフェとの連携企画など、事業者の強みを活かした特色のある取組を実施している。

Q チャチャチャひろばの今後の展開、展望は。

A 子育て家庭が安心して過ごせる居場所として、子どもの健康に関する悩み相談など、医療と子育てを切り口に地域の人々が集うひろばにしていきたいと考えている。

Q 子育て支援施設間の連携の今後は。

A 情報共有や意見交換の場を設けることと、様々な研修メニューの参加を促すことで、市内4施設の事業の充実と職員の資質向上に努めていく。



アルプラザ彦根4階「チャチャチャひろば」



子どもリユース事業「カエコト」

▲移転した子育て支援施設「チャチャチャひろば」と、併設した子どもリユース事業「カエコト」の様子



伊藤 容子議員

Q 水道管路更新の重要性への市の認識は

A 市民生活や産業活動を維持し、漏水時の道路陥没防止等、災害に強いまちづくりに寄与する



その他の質問

- ・災害時における情報伝達および避難所の地域福祉機能の維持について
- ・災害に強いまちづくりと子どもたちの未来への投資に向けて

Q 老朽化対策が、現在のペースで進んだ場合に更新完了まで何年要するのか。

A 過去5年の更新率で計算すると、全ての管路の更新には150年以上要し、管路の安全性を確保できない状態となる。

Q 水道管路更新の重要性への市の認識は。

A 水道管路の更新は、市民生活や産業活動を維持するインフラであり、また漏水時の道路陥没の防止や、更新時は耐震管を使用し災害時の被害を最小限にするなど災害に強いまちづくりに寄与し重要と考える。

Q 今後10年程度を見据えた更新費用の見通しは。

A 現在、年間約7億円程度の管路更新を実施しているが、近年の資材費や労務費の上昇で、当初想定した更新が十分に進んでいない。彦根市上下水道事業審議会で策定を進める次期経営計画案では、管路の健全度の維持に年間15億円以上の更新費用が必要と試算している。

2. 水道施設の現状と対策見直し
2.1 水道施設の現状と対策見直し



▲「水道施設の現状（2023年8月）」（R8年度第1回上下水道事業審議会 資料より）



和田 一繁議員

Q 彦根城築城420年を市長としてどのように迎えたいのか

A 様々な意見に耳を傾けながら検討したい



その他の質問

- ・彦根市観光振興計画について
- ・彦根市スポーツ推進計画について
- ・開国記念館の活用について

Q 彦根城築城420年を市長としてどのように迎えたいのか。

A 記念事業を実施すべきという声もある一方、厳しい財政状況が続いている。築城400年祭や410年祭のような規模のイベントを無理に行う必要があるのかという声もある。様々な意見に耳を傾け費用対効果や市民の理解を十分に踏まえながら、世界遺産登録に向けた機運の醸成につながる取組を検討する。

Q 市民が企画した事業に支援を行うべきでは。

A 彦根城築城420年のイベントの実施については、現状では具体的な結論には至っていない状況であり、実施体制や事業形態も含めて検討中の段階である。イベント等を実施する場合は、市民提案型の事業についても併せて検討する。



Re-Discovery & New-Creation
国宝・彦根城築城400年祭
期間：2007年3月21日（祝）～11月25日（日）



▲国宝・彦根城築城400年祭・410年祭ロゴ

政務活動費



▲詳細はこちら

会派別一覧表（令和7年度交付分 収支報告書）（単位：円）

交付会派名	人数	令和7年度 交付決定額	支出額	うち会派 自己資金	返還額
公政会※	6名	1,516,666	1,326,219	0	190,447
親政クラブ※	6名	1,603,333	662,605	0	940,728
夢みらい	4名	1,040,000	757,506	0	282,494
創風会	4名	1,040,000	1,017,116	0	22,884
公明党彦根市議団	2名	520,000	327,038	0	192,962
日本共産党彦根市会議員団	2名	520,000	537,695	17,695	0

※令和7年5月7日付で会派構成の変更があったため、交付決定額に端数が生じています。

政務活動費とは？

議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に交付されているお金です。

本市では、各会派に対して所属議員1人当たり年26万円を交付しており、政務活動費が余った場合は、返還することになっています。

年度途中で所属議員数に変更があった場合には、所属月数に応じて精算を行います。

交付の対象は？

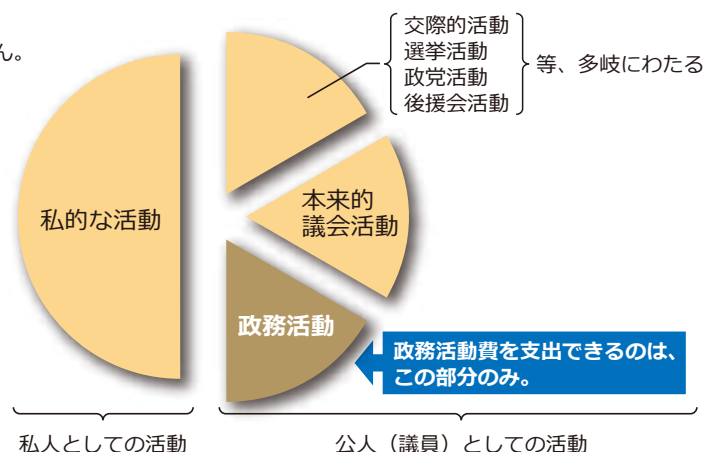
「会派が研究会・研修会を開催するために必要な経費」、「会派の行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費」等、調査研究に資するために必要な経費。

透明性の高い運用をするために

本市では政務活動費の使途基準を条例で定め明確化するとともに、領収書を添えた収支報告書の提出を義務付けています。また、ホームページで領収書の公開をしています。なお、基準に合致しない支出がないよう厳格に取り扱っています。

【参考】～政務活動の概念図～

※本図はあくまで政務活動の概念を表したもので、
政務活動費の支出割合を示したものではありません。



議員表彰

全国市議会議長会会長から、2名の議員が表彰を受けられました。



安澤 勝
議員
15年表彰

北川元気
議員
15年表彰

ぜひ傍聴にお越しください。

いつでも簡易な手続きで傍聴ができますので是非お越しください。

議場・委員会室ともに彦根市役所本庁舎5階にあります。

議場は定員45人、委員会室は定員9人です。

本会議・委員会の傍聴の仕方

- ①議会課（本庁舎5階）で「傍聴人受付簿」に住所やお名前等をご記入ください。
- ②傍聴者用の議案書、アンケート用紙、名札を受け取り議場または委員会室へ。
- ③お帰りの際、アンケートにご協力ください。



次の定例会は **8月**です

本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
8月31日（月）	開 会	9：30
9月 7日（月）	代表質問 個人質問	
9月 8日（火）		
9月 9日（水）		
9月10日（木）		
9月14日（月）	予 算 常 任 委 員 会	
9月15日（火）	福祉病院教育常任委員会	
9月16日（水）	市民産業建設常任委員会	
9月17日（木）	企画総務消防常任委員会	
9月24日（木）	本 会 議	
9月30日（水）	決 算 特 別 委 員 会	
10月 1日（木）		
10月 2日（金）		
10月 7日（水）	閉 会	